

日本植物分類学会第7回大会および2008年度総会のご案内

第7回大会準備委員会

日本植物分類学会第7回大会を以下のように開催いたします。

大会ホームページ <http://www.comp.tmu.ac.jp/bunrui7/>

【大会会場および日程の概略】

各種委員会 3月20日(木)

編集委員会 14:00～16:00(牧野標本館2階セミナー室)

評議員会 16:00～19:00(牧野標本館2階セミナー室)

受付 3月21日(金) 8:30～ 6号館エントランスホール

一般講演・ポスター発表 3月21日(金)～23日(日)

一般講演 3月21日 9:30～15:00 6号館110教室

3月22日 9:30～12:15 6号館110教室

3月23日 9:30～12:15 6号館110教室

ポスター発表 3月21日 15:15～17:15 6号館104・105・106教室

3月22日 13:15～14:00 6号館104・105・106教室

総会・学会賞授与式 3月22日(土) 14:00～15:30 6号館110教室

受賞講演 3月22日(土) 15:45～17:45 6号館110教室

懇親会 3月22日(土) 18:15～20:15 首都大学東京・生協食堂

一般公開シンポジウム 3月23日(日) 13:30～16:30 6号館110教室

【大会に参加される方へ】

1. 登録と諸注意

- 受付は3月21日(金)午前8時30分より6号館エントランスホールで開始します。当日参加や学会入会受付も行います。なお、公開シンポジウムのみの方の参加の方は、大会参加費をお支払いいただくなくても結構です。
- 会場内では常に名札をご着用下さい。また終了時には名札ケースを大会受付にお返し下さい。
- 学内は指定箇所を除き、すべて禁煙です。
- 大学構内には原則として駐車はできません。お車での来場はご遠慮下さい。

2. 研究発表

(1) 口頭発表(一般講演)

- 発表時間は、講演12分、質疑応答3分の計15分です。終了時間の5分前に1鈴、3分前に2鈴、終了時に3鈴を鳴らします。
- 液晶プロジェクターを用いて発表される方は、ノートパソコンを各自ご用意頂き、操作も発表者自身で行って頂きます。接続コネクタは一般的なミニD-sub15ピン(ピンが3列のタイプ)のものです。このコネクタとお持ちのノートパソコンの映像出力端子が異なる場合は、接続アダプタをご自身でご用意下さい。なお、接続ケーブルは2本用意し、次演者席にて事前に接続・立ち上げを行うことができますようにします。
- パソコンによっては映像出力が認識されないことがあります。そこで以下の予定で口頭発表

前に動作確認の時間を設け、実際にプロジェクターを用いてテストできるようにします。場所は口頭発表会場である6号館110号室で行います。

< 動作確認の日時 >

3月21日 8:30～9:20 12:15～13:20

3月22日 8:30～9:20 12:15～13:20

3月23日 8:30～9:20

原則として、朝8:30～9:20はその日の午前中に発表を予定されている方、昼12:15～13:20はその日の午後に発表を予定されている方を優先させていただきます。パソコンによっては映像出力が正常に認識されないことがありますので、一度、動作確認をされることを強くお勧め致します。上述の時間では都合が悪いという方は受付までお申し出ください。プログラムの都合上、ご要望に添えない場合もございますが、出来るだけ対応致します。

- 予想外のトラブルに備えて、発表用ファイルのバックアップをUSBメモリー等に入れてお持ち下さい。
- 口頭発表の会場（6号館110教室）は、部屋が大きい（400席以上）わりにスクリーンは小さ目です。パワーポイントのスライドの字は、最低でも20ポイント以上（24ポイント以上を推奨）でお願い致します。そして図や写真についても重要なところが拡大されているものを準備されるよう、お願いいたします。

(2) ポスター発表

- ポスター発表用パネルの左上角に発表コードを掲示しますので、各自所定の場所に貼って下さい。画鋲は大会準備委員会で準備します。
- ポスター発表は以下のスケジュールで行います。発表終了後は速やかに撤去して下さい。
ポスター貼り付け 3月21日（金）8:30より15:00まで
ポスターセッション 3月21日（金）15:15～17:15
ポスターセッション 3月22日（土）13:15～14:00
（21日に見ることができなかった方々のため、22日にも若干の討論の時間を設けました）
展示終了・取り外し 3月22日（土）14:00より3月23日（日）12:15まで

3. 懇親会

3月22日18:15より、首都大・生協食堂（6号館から徒歩3分程度）で懇親会を行います。当日参加も可能です（一般6,000円、学生4,000円）

4. 休憩室・クローク

休憩室は6号館101教室です。大会開催時間中のみ、ご利用可能です。クロークは休憩室の一角にあります。荷物の受け取りは、3月21日は17:30まで、3月22日は18:00まで、3月23日は17:00までをお願いします。

5. 弁当・昼食について

弁当を事前に注文された方は、当日の11:30～13:00の間に、大会受付でチケットと引き替えにお受け取り下さい。予約以外の弁当の販売はいたしませんので、ご了承下さい。

首都大・生協食堂は、3月21日（金）の昼食時のみ営業しています。南大沢駅周辺のレストラン等でも昼食をとっていただくことが可能ですが、週末はかなりの混雑が予想されます。

6. 大会についてのお問い合わせ先

〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京 牧野標本館 村上哲明

電話 042(677)2420 FAX 042(677)2421

Email: jsps7www@tmu.ac.jp (大会専用)

大会ホームページ: <http://www.comp.tmu.ac.jp/bunrui/>

大会会場への交通

新宿駅から調布経由、南大沢駅まで

新宿（京王線で約15～20分）調布（京王相模原線で約20分）南大沢

（新宿では特急または準特急列車に乗車されることをお勧めします）

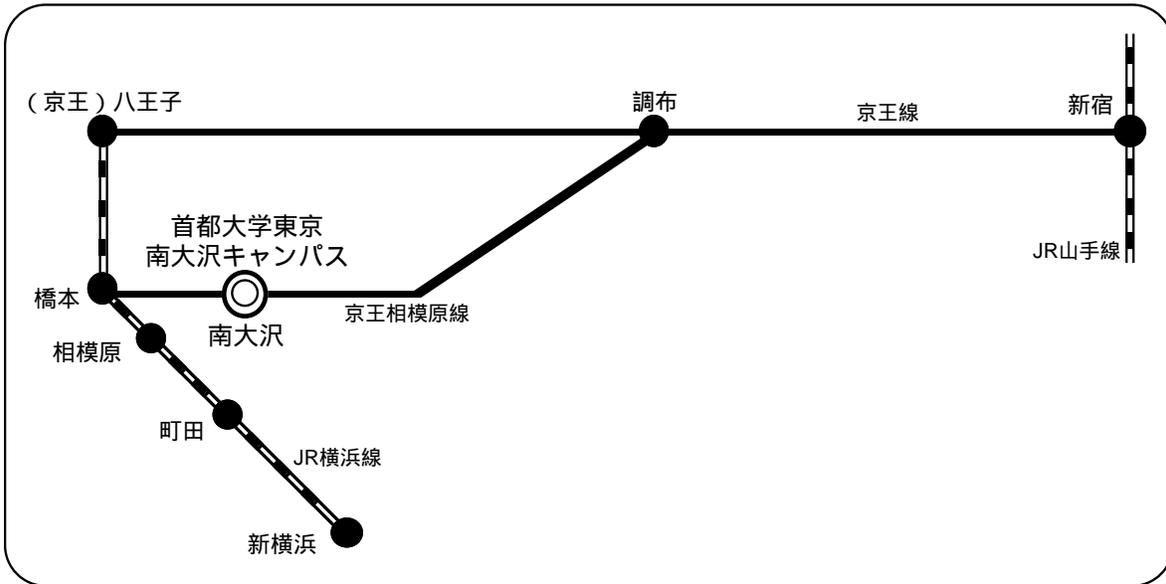
新横浜駅から橋本経由、南大沢駅まで

新横浜（JR横浜線で約40分）橋本（京王相模原線で約5分）南大沢

八王子駅から橋本経由、南大沢駅まで

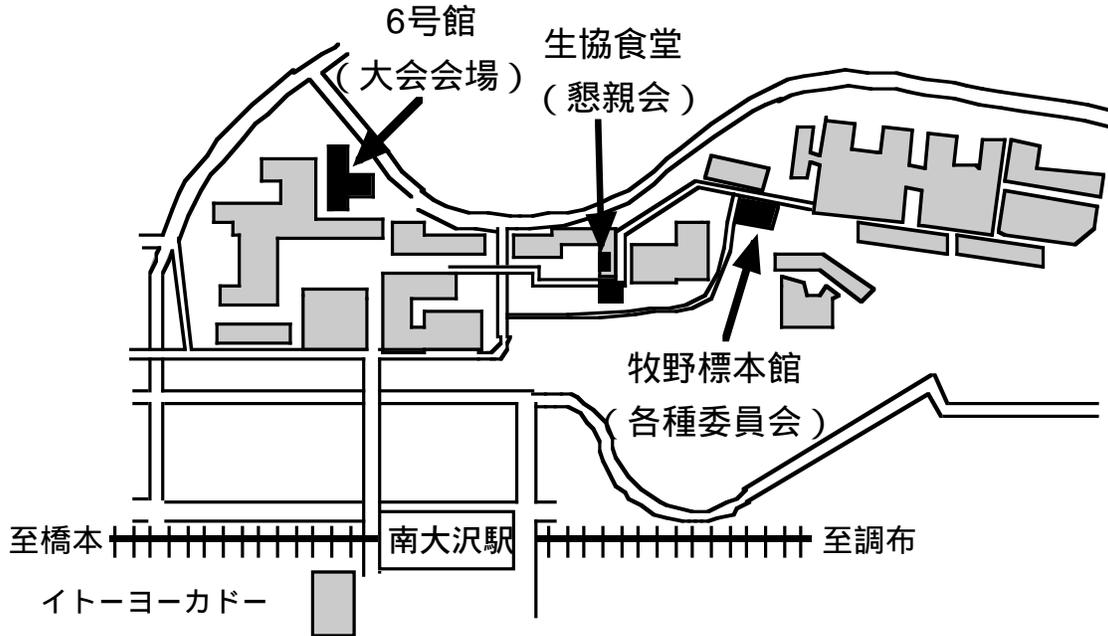
八王子駅（JR横浜線で約12分）橋本（京王相模原線で約5分）南大沢

- 南大沢駅から首都大学東京南大沢キャンパス正門までは、徒歩5分程度です。
- （ ）内の所要時間には乗り換えの時間は含まれません。また京王線は特急・準特急・急行・快速いずれの列車も利用可能ですが、それぞれ所要時間が異なりますのでご注意ください。
- 構内には駐車場がございません。お車でのご来場はご遠慮下さい。

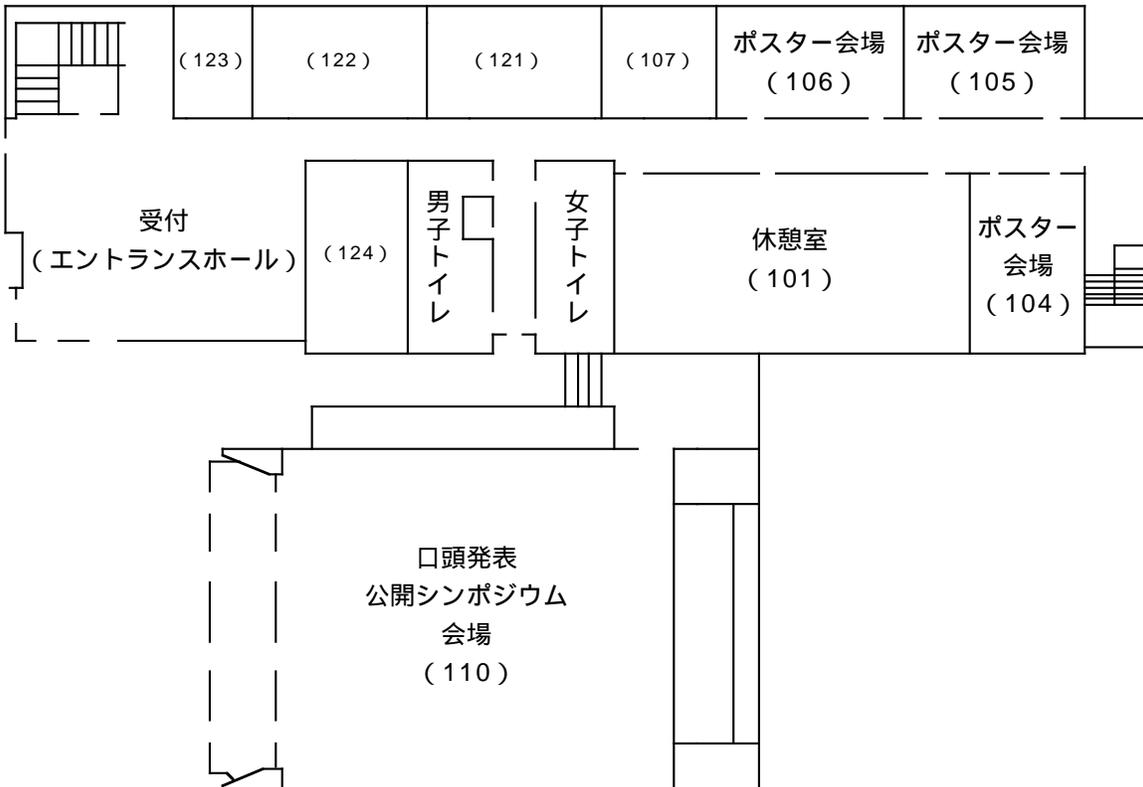


大会会場案内

首都大学東京南大沢キャンパス



会場配置図 (6 号館)



日本植物分類学会第7回大会プログラム

(於 首都大学東京 南大沢キャンパス6号館)

3月20日(木)

編集委員会 14時~16時 (於 牧野標本館2Fセミナー室)

評議員会 16時~19時 (於 牧野標本館2Fセミナー室)

3月21日(金)

受付 8:30~ (於 6号館エントランスホール)

一般講演 (於 6号館110教室)

(印は発表賞エントリーの発表です。*印は発表者を示し、現在求職中の発表者は‡印で示してあります。)

9:30 L-01 高山浩司‡・田村茉莉子(千葉大・理),立石庸一(琉大・教育),梶田忠(千葉大・理)

~9:45 新大陸における*Rhizophora*属植物の遺伝子流動の解析

9:45 L-02 池田啓*(京都大・院・人環),仙仁径(首都大・牧野標本館),藤井紀行(熊本大・院・

~10:00 自然科学・生命科学),瀬戸口浩彰(京都大・院・人環)

複数遺伝子座からみたミヤマタネツケバナ(*Cardamine nipponica*)の分断分布と進化史

10:00 L-03 青木京子‡(京都大・院・人環・学振PD),上野真義(森林総研),津村義彦(森林総研),

~10:15 加藤 真(京都大・院・人環),村上哲明(首都大・牧野標本館)

シイとその種子食昆虫は共通の歴史をたどったか:遺伝構造の比較解析

10:15 L-04 白水貴‡(筑波大・院・生命環境),廣瀬大・徳増征二(筑波大・菅平高原実験センター)

~10:30 木材腐朽性担子菌類はどのように多様化してきたのか?~アカキクラゲ目菌類の分子系

統解析に基づく一考察~

10:30 L-05 有川智己‡(慶応大・生物),坪田博美(広島大・宮島自然植物実験所),出口博則(広

~10:45 島大・院・理・生物科学),西村直樹(岡山理大・自然植物園),樋口正信(国立科博・

植物) ハイゴケ科(蘚類)の分類学的研究 2.複数遺伝子を用いた分子系統解析

10:45~11:00 休憩

11:00 L-06 篠原渉*(京都大・院・理・生物科学),Idris M. Said(Universiti Malaysia Saba),Rimi Repin

~11:15 (Sabah Parks),戸部博(京都大・院・理)

マレーシア・キナバル山に産するシケシダ類の細胞学的及び遺伝学的解析

11:15 L-07 大槻涼*(首都大・牧野標本館),篠原渉(京都大・院・理・生物科学),鈴木武(兵庫

~11:30 県立人と自然博),村上哲明(首都大・牧野標本館)

無配生殖をするヤブソテツ類の遺伝的多様性

11:30 L-08 渡邊加奈*・東馬哲雄・邑田仁(東京大・院・理・植物園)

~11:45 オオバウマノスズクサ群における網状の進化に関する研究

11:45 L-09 ウサハ パタマポーン*(神戸大・院・自然),飯田聡子(神戸大・内海域研究センター),

~12:00 天野百々江(神戸大・院・理),角野康郎(神戸大・院・理),小菅桂子(神戸大・遺伝

子実験センター) 日本産ヒルムシロ属の系統~雑種形成と同質・異質倍数体形成~

12:00 L-10 柿嶋聡*・東馬哲雄・邑田仁(東京大・院・理・植物園)

~12:15 遺伝的および形態的な交雑指数を用いたマムシグサ群における交雑現象の検証

12:15~13:30 昼休み

13:30 L-11 瀬尾明弘‡(地球研),篠原渉(京都大・院・理・生物科学),村上哲明(首都大・牧野

~13:45 標本館) 屋久島で側所的に生育するカンツワブキとツワブキの葉形と遺伝子型の関係

13:45 L-12 厚井聡‡・加藤雅啓(国立科博・植物)

~14:00 ラオスのカワゴケソウ科カワゴロモ属及びその近縁種の分類学的研究

- 14:00 L-13 福田知子* (兵庫県立人と自然博), 永益英敏 (京都大・総合博物館)
 ~14:15 東アジアのミヤマシキミ属
- 14:15 L-14 織田二郎* (大阪府立藤井寺高等学校), 永益英敏 (京都大・総合博物館)
 ~14:30 スゲ属ハリスゲ節の新種サトヤマハリスゲとコウヤハリスゲ
- 14:30 L-15 坂山英俊* (東京大・院・総合文化・生命環境), Adriana Garcia (School of Earth and
 ~14:45 Environmental Sciences, University of Wollongong), 野崎久義 (東京大・院・理・生物科学),
 伊藤元己 (東京大・院・総合文化・広域システム)
 シャジクモ類フラスコモ (*Nitella*) 属の系統関係と形態進化
- 14:45 L-16 國府方吾郎* (国立科博・植物), 彭鏡毅 (中央研究院), 横田昌嗣 (琉大・理・海洋自然)
 ~15:00 モロコシソウ (サクラソウ科) と近縁種の系統関係
- 15:00 ~ 15:15 休憩
- 15:15 ~ 17:15 ポスターセッション (於 6号館104・105・106教室)

3月22日(土)

- 受付 8:30 ~ (於 6号館エントランスホール)
- 9:30 L-17 遊川知久* (国立科博・植物), 石田源次郎 (広島市植物公園)
 ~9:45 エビネ属と近縁属の系統と分類
- 9:45 L-18 ゲイル ステファン* (高知県立牧野植物園, School of Life Sciences, University of Sussex),
 ~10:00 福田達哉 (高知大・農学), 伊藤桂 (高知大・農学), 前田綾子 (高知県立牧野植物園),
 遊川知久 (国立科博・植物)
 A molecular phylogenetic analysis of the orchid genus *Nervilia*, with special reference to the *N. nipponica* complex [ラン科ムカゴサイシン属 (*Nervilia*) に関する分子系統学的解析]
- 10:00 L-19 東馬哲雄*・平井一則・邑田仁 (東京大・院・理・植物園)
 ~10:15 小笠原産ノボタン属植物の系統と絶滅危惧種ムニンノボタンの現状
- 10:15 L-20 榊崎浩亮* (広島大), 賈買提明蘇来曼 (新疆大), 山口富美夫 (広島大), 古木達郎 (千
 ~10:30 葉県立中央博物館), 嶋村正樹・出口博則 (広島大)
 苔類ケフタマタゴケ属 (*Apometzgeria*) の分類学的研究
- 10:30 L-21 海老原淳* (国立科博・植物), 水上直子・徳留加奈子・今市涼子 (日本女子大・理)
 ~10:45 奥多摩に生育するシダ植物配偶体の分子同定: 「配偶体フロラ」の解明に向けて
- 10:45 ~ 11:00 休憩
- 11:00 L-22
 ~11:15

- 15:45 A-1 学会賞受賞者 加藤雅啓 (国立科学博物館・植物)
 ~16:30 カワゴケソウ科の系統進化
 16:30 A-2 学会賞受賞者 津軽俊介 (大本花明山植物園)
 ~17:15 標本に学ぶ
 17:15 A-3 奨励賞受賞者 大村嘉人 (国立環境研究所)
 ~17:45 地衣類とはどのような生き物か? ~ 遺伝的多様性の解明から分かったこと
 18:15 ~ 懇親会 (於 首都大・生協食堂)

3月23日(日)

- 受付 9:00 ~ (於 6号館エントランスホール)
- 9:30 L-27 多田史人* (東北大・院・生命), 山城考 (徳島大・総合科学), 佐藤友香 (福井県博),
 ~9:45 牧雅之 (東北大・院・生命) マイクロサテライトDNAを用いたフナバラソウとイヨカズ
 ラの交雑集団の集団遺伝学的解析
- 9:45 L-28 高橋康紘* (東北大・院・生命), 高橋弘 (岐阜大・教育), 牧雅之 (東北大・院・生命)
 ~10:00 ユリ科キバナノホトトギス節植物の遺伝的多様性と近交弱勢
- 10:00 L-29 山口幸恵*・東馬哲雄・邑田仁 (東京大・院・理・植物園) 同所的に生育するマムシグ
 ~10:15 サ群の種間の相互関係に関する研究 ~ 特にヤマトテンナンショウに注目して ~
- 10:15 L-30 山田敏弘* (金沢大・院・自然科学), 西田治文 (中央大・理工), 植村和彦 (国立科博・
 ~10:30 地学), 加藤雅啓 (国立科博・植物)
 北海道日陰ノ沢層 (白亜紀アルビアン) から産出したトリメニア科種子化石
- 10:30 L-31 高橋正道* (新潟大・理・自然環境), Else Marie Friis (Swedish Museum of Natural History,
 ~10:45 Sweden), Peter R. Crane (University of Chicago, USA)
 マイクロX線CTがよみがえらせた白亜紀のバンレイシ科の最古の花化石
- 10:45 ~ 11:00 休憩
- 11:00 L-32 戸部博 (京都大・院・理)
 ~11:15 オゼソウ (サクライソウ目) のembryology: 他の単子葉植物との比較
- 11:15 L-33 藤崎みちる* (筑波大・院・生命環境), 細矢剛 (国立科博), 広瀬大・徳増征二 (筑波
 ~11:30 大・菅平高原実験センター), 窪野高德 (森林総合研究所), 大園享司 (京都大・院 農
 学), 柿島眞 (筑波大・院・生命環境) ブナ殻斗に発生する菌類*Dasyscyphella longistipitata*
 (盤菌綱, ビョウタケ目, ラクヌム科) の系統地理学的研究
- 11:30 L-34 秋山忍*・海老原淳 (国立科博・植物)
 ~11:45 トリアシショウマとアカショウマ (ユキノシタ科チダケサシ属) の系統関係と地理分布
- 11:45 L-35 古賀啓一 (京都大・院・人環), 角野康郎 (神戸大・院・理), 瀬戸口浩彰* (京都大・
 ~12:00 院・人環) 日本列島におけるバイカモ亜属植物の系統地理: 種分類に関係のない南北の分
 化
- 12:00 L-36 中村 剛* (琉大・21COE), 諏訪鍊平・傳田哲郎・横田昌嗣 (琉大・理)
 ~12:15 琉球列島の種子植物相の構造とその成因 ~ 地史とランドスケープの視点から
- 12:15 ~ 13:30 昼休み

3月23日(日) 一般公開シンポジウム

午後1時30分~4時30分 於 首都大学東京 南大沢キャンパス6号館(110教室)
 テーマ「牧野富太郎博士の植物研究とその継承」

公開シンポジウム世話人 村上哲明 (首都大学東京 牧野標本館)

- 13:30 S-1 大場秀章 (東京大学 名誉教授)
 ~14:00 「牧野植物学と植物画」
- 14:00 S-2 田中伸幸 (高知県立牧野植物園 研究員)
 ~14:30 「牧野博士の行動録 ~ 編纂の経緯と今後の課題 ~ 」

14:30	S-3	菅原 敬 (首都大学東京 准教授)
~15:00		「牧野博士も研究したカンアオイ類~その奇妙な花と繁殖~」
15:00	S-4	畔上能力 (八王子自然友の会 会長)
~15:30		「アマチュア植物研究者による植物研究の展開」
15:30	S-5	邑田 仁 (東京大学理学系研究科附属植物園 園長)
~16:00		「マムシグサとテンナンショウ~牧野図鑑の歴史を振り返って~」
16:00		総合討論
~16:30		

ポスター発表 (於 6号館104・105・106教室)

(印は発表賞エントリーの発表です。*印は発表者を示し、現在求職中の発表者は※印で示してあります)

- P-01 中澤幸※・矢原徹一(九大・理・生物) 屋久島におけるサンショウソウの倍数体間の遺伝的多様性
- P-02 笹村和幸*・東馬哲雄・邑田仁(東京大・院・理・植物園)
倍数化及び地理的隔離によるヒロハテンナンショウ群(サトイモ科)の多様性
- P-03 矢野興一※・星野卓二(岡山理大・院・総情・数理環境)
スゲ属ヒメカンスゲ類の分子系統地理および染色体進化
- P-04 渡邊敬太*(琉大・院・理工), 傳田哲郎・横田昌嗣(琉大・理・海洋自然)
ヤブランとコヤブラン(スズラン科ヤブラン属)の染色体数とcpDNAハプロタイプの地理的分布
- P-05 モハマド ワタンパラスト*(1), 高山浩司(1), 皆川直美(2), 立石庸一(3), 梶田忠(1) [(1) Graduate School of Sciences, Chiba University, (2) Faculty of Science, Chiba University, (3) Faculty of Education, University of the Ryukyus]
Phylogeographic study of *Canavalia rosea* and its allies based on chloroplast DNA sequences
- P-06 野村尚史*・高相徳志郎(地球研), 瀬戸口浩彰(京都大・院・人環)
琉球諸島のツワブキとリュウキュウツワブキにおけるAFLPフラグメントの比較
- P-07 三井裕樹*(京都大・院・人環), 井鷲裕司(京都大・農・森林科学), 瀬戸口浩彰(京都大・院・人環) モミジハグマ属における溪流沿い種の系統進化と個体群動態
- P-08 Bayu Adjie*(千葉大・院・自然), 高宮正之(熊本大・院・自然), 太田道人(富山県立科学博), 大沢 A. 毅守・綿野泰行(千葉大・理・生物) Molecular Phylogeny of the Lady Fern Genus *Athyrium* in Japan Based on Chloroplast *rbcL* and *trnL-trnF* Sequences
- P-09 奥山雄大*・加藤真(京都大・院・人環)
ユキノシタ科チャルメルソウ属チャルメルソウ節(*Asimitellaria*)における未知の多様性の遺伝的探索: 植物DNA タクソノミーへの核リボゾームETS, ITS 領域の有用性
- P-10 大西亘*・矢原徹一(九大・理・生物)
日本産アオスゲ類の分子系統 ~核DNA 2領域と葉緑体DNA 3領域を用いた系統解析~
- P-11 伊藤 優*(東京大・院・理・植物園), 田中 法生(国立科博・植物園), 東馬 哲雄・邑田 仁(東京大・院・理・植物園) カワツルモ科カワツルモ属(*Ruppia*, Ruppiales)の分子系統
- P-12 齊藤由紀子※(1,2), 岩科司(2,1), 國府方吾郎(2,1) [(1) 東農工大・院・連合農, (2) 国立科博・植物] 東アジア産チゴユリ属植物の分子系統とフラボノイド成分の比較
- P-13 須貝杏子*・村上哲明・加藤英寿(首都大・牧野標本館)
琉球由来のセンダンが小笠原諸島自生のセンダンに引き起こす遺伝的攪乱の可能性
- P-14 藤田卓※(九大・理), 高山浩司(千葉大・理), 加藤英寿(首都大・牧野標本館)
南硫黄島における絶滅危惧種の分布と個体群の変遷
- P-15 常木静河*・村上哲明・加藤英寿(首都大・牧野標本館)
小笠原産タブノキ属植物の形態変異と遺伝的分化
- P-16 小早川三輪*(都立大・牧野標本館), 西出真人(首都大・牧野標本館), 安田恵子(総合地球環境学研究所・西表島分室), 菅原敬(首都大・牧野標本館)

ハナガサノキの性表現：小笠原諸島個体群と南西諸島個体群とにおける性型の違いの意味

- P-17 田川哲*・矢原徹一・中澤幸・藤田卓（九大・院・理）
屋久島における絶滅危惧植物の分布とニッチ分析
- P-18 保谷彰彦*・芝池博幸・楠本良延・山本勝利（農環研）
雑種性タンポポの分布拡大様式～島嶼における事例から～
- P-19 森重さやか*（琉大・院・理工），傳田哲郎・横田昌嗣（琉大・理・海洋自然）
西表島で発見されたイワヒトデ属とヌカボシクハラ属の推定属間雑種について
- P-20 早坂英介*（東北大・植物園） ダルハディン湿地帯（モンゴル国フブスグル県）の植物相
- P-21 佐々木博美*・林蘇娟（島根大・院・生物資源・生物科学）
島根県産スイカズラ属（*Lonicera* L.）植物の多様性
- P-22 岩崎健*（北海道大・院・農），高橋英樹（北海道大・総合博物館）
ヒメシラスゲとヒカゲシラスゲの地下構造
- P-23 佐藤博俊*（京都大・院・理），村上哲明（首都大・牧野標本館）
同所的に生育する菌根性キノコ類・オニイグチ属の隠蔽種間でみられた宿主樹種構成に関する分化
- P-24 加藤 将*（東京大・院・理・生物），坂山 英俊（東京大・院・総合文化），三沢 計治（理研），佐野 郷美（千葉県立船橋芝山高校），笠井 文絵（国立環境研・生物圏），渡邊 信（筑波大・生命環境），田中 次郎（東京海洋大・藻類），野崎 久義（東京大・院・理・生物）
複数の核DNA領域による日本産*Chara braunii*（シャジクモ目）の種内解析
- P-25 五十畑貴生*（千葉大・理・生物），海老原淳（国立科博・植物），朝川毅守・綿野泰行（千葉大・理・生物） フモトシダの推定隠蔽種の日本及び近隣地域における分布
- P-26 長本三鈴*（鳥取大・院・連合農学・生物資源），林蘇娟（島根大・生物資源・生物科学），鈴木武（兵庫県立人と自然博），海老原淳（国立科博・植物），盧海声・劉劍秋（福建師範大・生命科学学院），徐自坤（武夷山自然保護区管理局），武素功（中国科学院昆明研究所），岩槻邦男（兵庫県立人と自然博） 中華人民共和国福建省武夷山における*Polystichum Otomasui* Kurata(Dryopteridaceae)の新分布
- P-27 脇田悟寿*（千葉大・院・理），立石庸一（琉大・教育・理科），東馬哲雄・邑田仁（東京大・院・理・植物園），梶田忠（千葉大・院・理）
漂着種子を用いたマメ科モダマ属の分子系統地理学的研究
- P-28 Izu Andry Fijridiyanto* (Grad.of Sci., Kyoto Univ.), Noriaki Murakami (Makino Herbarium, Tokyo Metropolitan University)
Phylogeny of *Litsea* and related genera (Laureae-Lauraceae) based on analysis of RPB2 Gene sequences
- P-29 西田佐知子*（名古屋大・博物館），Henk van der Werff（Missouri Botanical Garden）
クチクラによる分類群認識～クスノキ科における花の数性の見直し例
- P-30 村上洋*（上越教育大・院・自然），五百川裕（上越教育大・総合学習）
日本海側海岸産スマレの分類
- P-31 渡部清香*（愛知教育大・生物），岩坪美兼（富山大・理・生物），渡邊幹男・芹沢俊介（愛知教育大・生物） タデ科の1新種ヒメボントクタデとボントクタデの起源
- P-32 芹沢俊介（愛知教育大・生物） 東海地方の湧水湿地に生育するラン科の～新種オオミヤマウスラ
- P-33 谷亀高広（高森町蘭植物園），勝山輝男（神奈川県博），遊川知久*（国立科博・植物）
日本産サカネラン属の1新種 タンザワサカネラン
- P-34 堤千絵*・遊川知久・加藤雅啓（国立科博・植物） 日本産クモキリソウ属（ラン科）の2新種
- P-35 佐藤広行*（北海道大・院・農），高橋英樹（北海道大・総合博物館）
北海道・サハリン・千島列島産のチシマガリヤスについて
- P-36 野崎久義*・松崎素道（東京大・理・生物科学），三澤計治（理研・次世代計算科学），丸山真一郎（東京大・理・生物科学） 一次共生植物の非単系統性と”超”植物界（“Super” Plant Kingdom）
- P-37 坪田博美*（広島大・院・理・宮島自然植物実験所），井藤賀操（理研・PSC），古木達郎（千葉県中央博），ベレン エステバナス（マドリッド自治大），榊原均（理研・PSC），出口博則（広島大・

- P-38 宮脇博巳* (佐賀大・文化教育), 山口富美夫 (広島大・院・理・生物科学), 清水英幸 (国立環境研究所), H. Simbolon (Herbarium Bogoriense, Research Center for Biology, LIPI, Bogor), 鈴木英治 (鹿児島大・理・地球環境科学)
インドネシア, 東カリマンタンの樹皮生着生および葉上生稀産地衣類数種
- P-39 嶋村正樹*・野口加耶子・榊崎浩亮・山口富美夫・出口博則 (広島大・院・理・生物)
セン類ヨツバゴケ属の分類学的研究
- P-40 水上直子*・徳留加奈子 (日女大・理), 海老原淳 (国立科博・植物), 高橋直子・今市涼子 (日女大・理) シダ植物の野生配偶体の分子同定と形態 ~ 培養配偶体との比較 ~
- P-41 角川 (谷田辺) 洋子* (国立科博・植物), 篠原渉 (京都大・院・理・生物科学), 村上哲明 (首都大・牧野博物館), 松本定・加藤雅啓 (国立科博・植物)
オオバヤシャゼンマイの自配受精個体における形態変異
- P-42 藤原健人* (東京大・院・総合文化), 野村尚史 (地球研), 伊藤元己 (東京大・院・総合文化), 瀬戸口浩彰 (京都大・院・人環), 安田恵子・高相徳志郎 (地球研)
溪流沿い植物リュウキュウツワブキの集団内遺伝構造
- P-43 鈴木武* (兵庫県立人と自然博), 菅村定昌 (コウノトリ市民研究所), 武田義明 (神戸大・発達科学) 兵庫県での在来タンポポの分布
- P-44 竹原正貴* (東北大・理・生物), 山城考 (徳島大・総合科学), 牧雅之 (東北大・院・生命)
グミ属ナワシログミ亜属3種の交雑現象の形態学的解析
- P-45 堀江佐知子* (東北大・院・理学), 鈴木和雄 (徳島大・総合科学), 牧雅之 (東北大・院・生命)
SSRマーカーを用いたバイカイカリソウとトキワイカリソウの集団遺伝学的解析
- P-46 内貴章世* (大阪市立自然史博物館), 安田恵子 (地球研・西表分室)
西表島に分布するルリミノキ属 (アカネ科) の開花フェノロジー
- P-47 中田牧子*・菅原敬 (首都大・院・理工)
イブキジャコウソウの2型の花とは? ~ その形態, 機能的性表現と繁殖特性 ~
- P-48 尾関雅章・大塚孝一*・須賀丈 (長野県環境保全研)
絶滅危惧種タデスミレの実生の発生サイトと定着条件
- P-49 川端弘子 (北海道大・院・理・生命理学)
芽とモジュールの個性が導く形質としてのササ属シュートの高次構造
- P-50 加藤英寿* (首都大・牧野標本館), 藤田卓 (九大・理), 高山浩司 (千葉大・理)
2007年南硫黄島自然環境調査の概要
- P-51 黒沢高秀* (福島大・共生システム理工), 中野晋太・藤田正明・岡千照 (福島大・教育)
国史跡名勝南湖 (福島県白河市) の植物相の変化と消滅した植物復元の取り組み
- P-52 河原孝行* (森林総研北海道), 能城修一 (森林総研), ラジャシュクウプラティ (ネパール植物資源局), 大場秀章 (東京大・総合研究博物館) ネパールRolwaling地域のヤマハハコ属*Anaphalis*
- P-53 菊地諒* (東北大・理・生物), 高橋弘 (岐阜大・教育), 牧雅之 (東北大・院・生命)
葉緑体DNA変異を用いた日本産バイケイソウの系統地理学的解析
- P-54 藤井紀行 (熊本大・院・自然科学・生命科学)
葉緑体DNAを用いたハンカイシオガマ列植物 (ゴマノハグサ科) の分子系統地理学的解析
- P-55 宮なるう* (首都大・院・理工), 藤井紀行 (熊本大・院・自然科学・生命科学), 桜澤裕樹 (都立大・院・理), 村上哲明 (首都大・牧野標本館) イワタバコ類の種分類学的研究